

学習指導要領		都立新宿高校 学カスタンダード
<p>(1) 諸地域世界の形成</p> <p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p> <p>イ 南アジア世界・東南アジア世界 南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>[先史]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類の特徴と化石人類の進化について理解する。 ・獲得経済から生産経済への変化と文明への道程を把握する。 <p>[西アジアの地理的特質とオリエント文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエント文明の発達の仕組みを、西アジアの地理的特質や灌漑農業、神権政治の確立などから説明できる。 ・メソポタミアとエジプトにおける文明の発達の歴史的過程を比較し、それぞれの特徴を理解する。 <p>[イラン人の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アケメネス朝の統治について、政治体制、経済政策、異民族支配などの面から理解する。 ・パルティア、ササン朝の周辺諸国との興亡を理解するとともに、イラン文明の東西への伝播について具体的事例を挙げて説明できる。 <p>[地中海世界の地理的特質とギリシア・ローマ文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代地中海世界が一つの文化圏を形成した理由を地中海世界の地理的特質などから理解する。 ・ポリス社会の特徴を、代表的なポリスであるアテネとスパルタを比較して説明できる。 ・アテネ民主政の特徴を現代の民主政と比較して説明できるとともに、ポリス社会衰退の原因を説明できる。 ・ギリシア文化とヘレニズム文化の特徴について具体的事例を挙げて説明できる。 ・ローマ法が市民法から万民法に発展する過程について、市民権の拡大という観点から理解する。 ・キリスト教の国教化、教義統一の過程、ローマ帝国の統治理念の形成について理解する。 <p>[南アジアの地理的特質]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南インドの複雑な民族構成が歴史的経緯の中で生まれてきたことを理解する。 <p>[インダス文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インダス文明がインド文明の源流をなすと考えられている理由を具体的な事例を挙げて説明できる。 <p>[アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アショーカ王とカニシカ王の事績、ガンダーラ様式とグプタ様式の相違、インド古典文化がイスラーム世 	

学習指導要領	都立新宿高校 学カスタンダード
<p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界</p> <p>東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>エ 時間軸からみる諸地域世界</p> <p>主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>	<p>界に与えた影響などについて具体的事例を挙げて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒンドゥー教がインド社会に定着していった歴史的背景を説明できる。 ・仏教成立の社会的背景や南アジアで仏教が衰退していった歴史的過程を理解する。 <p>[東南アジアの地理的特質と国家形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海路を利用した交易活動が盛んに行われていたことを、具体的な事例を挙げて説明できる。 ・東南アジア世界における南アジア文明や中華文明の受容の様子を具体的な事例を挙げて説明できる。 <p>[東アジア世界の地理的特質]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方民族による農耕地帯への侵入が、東アジアの国家と民族の動きに影響を与えていくことを理解する。 <p>[中華文明の起源と秦・漢帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殷と周の支配体制の特徴を比較して説明できる。 ・春秋戦国時代の社会変動の様子を具体的な事例を挙げて説明できる。 ・秦と漢の統治政策を比較して、その相違を理解するとともに、東アジアに冊封体制が形成された意味を理解する。 <p>[内陸アジアの地理的特質と遊牧国家の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊牧国家の興亡を遊牧民の活動から説明できる。 ・匈奴の勢力の推移について、高祖と武帝の政策の違いから説明できる。 ・張騫の派遣をきっかけにオアシスの道が形成され西方世界との交易路として発展していくことを理解す。 ・江南地方の開発の歴史的な意義を説明できる。 <p>[唐帝国と東アジア諸民族の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐末の混乱の中で、唐の諸制度の変化について理解する。 ・東アジア文化圏を構成する諸地域の共通性と独自性を、具体的事例を挙げて説明できる。 ・日本が遣隋使・遣唐使を派遣し、強固な国家体制の整備を進めるため、隋・唐帝国の政治制度を取り入れたことを説明できる。

学習指導要領		都立新宿高校 学カスタンダード
<p>(3) 諸地域世界の交流と再編</p>	<p>ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大 アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p> <p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p>	<p>[アラブ人とイスラーム帝国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6世紀後半以降のアラビア半島の経済的重要性を周辺情勢から説明できる。 ・アッバース朝が「イスラーム帝国」と呼ばれる理由をウマイヤ朝との比較から理解する。 ・イスラーム世界の中心がバグダードからカイロに移った背景について理解する。 <p>[トルコ系民族の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マムルークとして登場したトルコ人がセルジューク朝以降、西アジアの主要民族となることを理解させる。イクター制が広く試行された背景を理解する。 <p>[アフリカ・南アジアのイスラーム化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムスリム商人の活動について、通商ルートを明示しながら具体的に説明できる。 <p>[イスラーム文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギリシア語文献がアラビア語に翻訳され イスラーム世界で発達した学術・文芸の流れについて理解する。 <p>[西ヨーロッパの封建社会の成立と変動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランク王国とローマ=カトリック教会の提携の歴史的意義を理解するとともに、地中海世界が西ヨーロッパ世界・東ヨーロッパ世界・イスラーム世界に分立していく歴史的過程を理解する。 ・イスラーム勢力・マジャール人・ノルマン人の活動が封建社会の形成に与えた影響を理解する。 ・貨幣経済の浸透が封建社会の変容と国王による中央集権化に与えた影響について理解する。 ・教皇権の隆盛と衰退の過程について具体的事例を挙げて説明できる。 <p>[ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国の統治体制の特徴を西ヨーロッパ世界との比較から理解するとともに、軍管区制とプロノイア制が導入された背景を理解する。 ・東ヨーロッパにおいて、ポーランドからモスクワ大公国に覇権が移っていく歴史的過程を理解する。 <p>[キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギリシア語文献やアラビア語文献がラテン語に翻訳され12世紀ルネサンスに発展したことを説明できる。

学習指導要領		都立新宿高校 学カスタンダード
<p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。</p>		<p>[内陸アジア諸民族と宋の抗争]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タラス河畔の戦いの歴史的意義について説明できる。 ・これまでの北方民族と比較して、契丹や女真が民族としての独自性を維持できた理由を理解する。 ・唐末・五代・宋の転換期における社会の変動と支配者層の交替について理解する。 ・宋代に発達した都市の特徴を唐代までの都市と比較して理解する。 ・宋学が成立した社会的背景と国際情勢を理解する。 ・朱子学が儒学の正統となり、朝鮮・日本で官学化されたことを理解する。 <p>[モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル軍の強力な軍事力の基盤となった部族制について理解する。 ・元の通貨制度の特徴とそれが元の衰退の原因となった理由について理解する。 ・モンゴル時代の東西交流について、具体的な人物や文化を挙げて説明できる。 ・モンゴルの勢力拡大が日本・東南アジアの再編に与えた影響を理解する。
<p>エ 空間軸からみる諸地域世界 同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>		<p>[西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティムール朝におけるトルコ=イスラーム文化の繁栄の背景を理解する。 ・「ゆるやかな専制」を可能としたオスマン帝国の多民族国家統治の特色を理解する。 ・インドにおける新宗教の成立の背景と影響を理解する。 ・銀を媒介とした交易の拡大について理解する。
<p>(4) 諸地域世界の結合と変容 アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p>		<p>[明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際商業の活発化が明の商工業や社会に与えた影響について理解する。 ・明末清初のイエズス会宣教師の来航が中国に与えた影響と中国文化がヨーロッパ文化に与えた影響について、具体的事例を挙げて説明できる。 <p>[ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの近代的側面と中世的な側面について理
<p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p>		<p>[ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの近代的側面と中世的な側面について理

	学習指導要領	都立新宿高校 学カスタンダード
	<p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p>	<p>解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルヴァンの教えが商工業者に受け入れられた理由とその後の社会の進展に与えた影響を理解する。 ・ハプスブルク家とフランス王家の対立を軸に、ヨーロッパ主権国家体制の形成と展開を理解する。 <p>[世界各地への進出と大西洋世界の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業革命の結果、ヨーロッパにおける東西の分業体制が形成されたことを理解する。 ・英仏の植民地争奪戦をヨーロッパにおける戦争と関連付けて理解する。 ・大西洋世界に形成された大陸間分業体制が西ヨーロッパに与えた影響について理解する。 <p>[17～18世紀のヨーロッパ文化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代合理主義の思想や学問がその後の社会に与えた影響を理解する。